ドラマのある甲賀市
「スカーレット」好評放送中

甲賀市を舞台とした連続テレビ小説「スカーレット」は、放送開始から1カ月が経ちました。皆さんご覧いただいていますか。

今回は、ヒロインを演じる戸田恵梨香さんのインタビューと、「スカーレット」に関連した取り組みについて紹介します。

「スカーレット」ヒロイン川原喜美子役 戸田恵梨香さんインタビュー No.2

ご自身の役柄についての印象（ご自身との共通点・異なる点など）や、役のここに注目してほしいという点など。

戸田さん：喜美子を演じるときには、芯の強さと意志の強さ、みんなを笑顔にするような元気な姿をすごく意識しています。10代の時は特に、とにかく笑顔でいろんなことに興味がある、素直な姿をみせられるように心がけています。それに、喜美子は男女間に興味がないし、子どもの心を持ったまま年を重ねている人。女性っぽい印象を感じさせないことを大事にしています。

役を演じる時に、自分と似ているか似てないかを考えることはあまりありませんが、喜美子ほどの活力は持ってないな…と思いますね。喜美子はパワーがあってすごいです。あれだけ家族を支えて、周りの人たちのこともちゃんと見ていて、力強くめげずに、弱音を吐かない姿はかっこいいなと思います。私自身も喜美子のように「芯が強い」と若い頃からよく言われるんですが、曲がったことが嫌いだとか、筋は通しておきたいとか、そういう面があるからなのかなと思います。

収録に参加されてみて、現場の印象は？

戸田さん：現場で楽しいのは会話です。あと、作品中に出てくるごはんがどれも衝撃的なくらいおいしくて最高です。楽しみだし、幸せです。毎日ごはんのシーンを撮影したいですね（笑）。ごはんがあるシーンは、テンションが明らかに高いなって自分でもわかります（笑）。中でもいちばんおいしくて衝撃だったのは、おみそ汁。川原家のも、喜美子が働く大阪の荒木荘のも、絶品です。今まで飲んだおみそ汁の中で、一番好きって断言できますね。

〝朝ドラ〟の撮影は大変な現場だと何度も耳にしていましたが、今のところスケジュールが大変というよりも、セリフ量が大変です。1週分ずつ撮影するのではなく、3～4週分を同時に進行させて撮影するので、覚えるセリフの量がかなり多いし、一日の中で18歳を演じたり21歳を演じたりしなくてはいけないんです。そのシーンの前後とのつながりなど、いろんなことを考えて演じなくてはいけないから、体力と頭を使うなあと感じています。

※戸田さんのインタビューは次号に続きます。

NHK提供

3月28日まで運行
「スカーレット」ラッピング列車出発

信楽高原鐵道では「スカーレット」のラッピング列車を運行しています。

クリーム色の車体にはヒロインを務める戸田恵梨香さんの顔と「スカーレット」の題字が大きく描かれています。また、カラフルな焼き物のイラストが散りばめられた車内には、戸田さんの直筆サインもご覧いただけます。

運行初日の9月29日には、戸田恵梨香さんを招き、信楽駅で出発式が行われました。戸田さんは「列車の出発とともにスカーレットが盛り上がるよう、滋賀の皆さんと一緒に走り出したいです」とあいさつし、笑顔で手を振り列車を見送りました。

運行期間は来年3月28日までです。ぜひ乗車してドラマの世界を体感してください。

◀ラッピング列車の出発合図を送る戸田恵梨香さん

問合せ 観光企画推進課 ロケーション推進室 ☎69-2198 FAX 63-4087

甲賀流忍者大祭2019に粘土こね体験ブースを出展
―「スカーレット」で甲賀を盛り上げる推進協議会―

「スカーレット」で甲賀を盛り上げる推進協議会では、甲賀流忍者大祭2019のイベントエリアに、粘土こね体験ブースを出展します。信楽の土に触れ、あなたもヒロイン戸田恵梨香さんになりきってみませんか。

日時 11月10日(日) 9時～16時
場所 鹿深夢の森公園
※体験無料

▶大学生らの指導の下、粘土こね体験をお楽しみいただけます。

問合せ 観光企画推進課 ロケーション推進室 ☎69-2198 FAX 63-4087

信楽古陶愛好会展
＝スカーレットの時代のやきもの＝

NHK連続テレビ小説「スカーレット」放送開始にちなみ、スカーレットの時代の作品を展示しています。

昭和20～30年代の登り窯で焼かれた海鼠釉や絵付けの火鉢、穴窯で焼かれた「緋色（火色）」「ビードロ」「焦げ」の作品などを展示しています。

スカーレットの時代を感じに、ぜひお越しください。

※観覧無料

会期 11月18日(月)まで※木曜休館
場所 信楽伝統産業会館

▲穴窯

▲スカーレット時代を感じる火鉢

問合せ 信楽伝統産業会館 ☎82-2345 FAX 82-2551